

学校だより 7月号



令和8年6月30日
横浜市立白根小学校



白根小 HP

「自分で考え、言葉で伝える力を育てる」

副校長 上石 千鶴

夏の訪れを感じる季節となりました。日差しの強さや気温の上昇とともに、子どもたちの学校生活もますます活気に満ちてきています。早いもので、新年度が始まって3か月が経ちました。

日々、校内の様子を見ていると、子どもたちが授業や友達との関わりの中で、自分なりに考えようとする場面が増えてきているのを感じます。ある授業では、問いに対してすぐに答えを求めるのではなく、「どうしてそう考えたのか。」と自分の中で理由を探したり、友達の意見に耳を傾けながら新たな気づきを得たりする姿が見られました。

白根小では、国語科を中心に「自分の思いや考えをもち、適切な言葉で表現することができる子」「自ら問いを設定し、その問いにじっくり向き合う子」「他者との関わりを通して、新たな考えに気付く子」の育成を目指し、一昨年度より校内研究を進めてきました。しかし実際には、自分の考えをもつことや、それを言葉にして伝えることに難しさを感じている子どもも少なくありません。このことは、日々授業に向き合う教職員にとっても課題として共有されているところです。

そこで今年度は、この「考えをもち、表現すること」に重点を置き、子どもたちが安心して自分の思いを伝えられる授業づくりに、全校で取り組んでいます。日々の授業の中で、子どもたち一人ひとりの言葉に丁寧に耳を傾け、その考えを価値付けることで、さらに表現しようとする意欲を育てていきたいと考えています。

副校長として学校全体を見渡す中で、こうした一つひとつの積み重ねが、子どもたちの確かな成長につながっていくことを強く感じています。子どもたちが自分の考えをもち、それを言葉で伝え合うことができるようになることは、これからの社会を生きていく上で欠かせない力となります。

あと3週間で夏休みです。これまでの学びを振り返りながら、それぞれが自分の成長を実感し、次につなげていけるよう、教職員一同支えてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

7月の目標

- 【生活】身の回りの整理整頓をしよう
- 【保健】夏を健康に過ごそう
- 【給食】清潔に心がけて食事をしよう

